

政策 03 安全に安心して暮らせるまちづくり

施策 01 地域コミュニティ活動の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	地域づくりに参加することで、地域の連携が深まっています。

施策の成果状況と評価

指標①	地域で町内会・行政区の活動が機能していると思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【生活課】	%	65.0	-	64.3	→
評価	(状況) 地域で町内会・行政区の活動が機能していると思う市民の割合は64.3%で、総合計画基準値 (H28) と比較し0.7ポイント減少していますが、市民アンケートによる指標であるため、統計誤差の範囲であり横ばいです。内容を見ると「機能している」が13.1%、「どちらかといえば機能している」が51.2%となっています。 (原因) 長く続く町内会のつながりに加え、ふるさとづくり支援事業等の取り組みが、一定程度理解され、地域の課題解決に結びついているためと推測されます。						目標達成度
							■ ■ ■ (低)

指標②	市民・行政・地域がそれぞれ協力しあって地域課題に取り組んでいると思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【生活課】	%	71.2	-	67.5	→
評価	(状況) 市民・行政・地域がそれぞれ協力しあって地域課題に取り組んでいると思う市民の割合は67.5%で、総合計画基準値 (H28) と比較し3.7ポイント減少しました。 (原因) ふるさとづくり支援事業等を活用し、地域の課題解決に取り組んでいますが、地域コミュニティに関する意識の希薄化が大きな要因と考えられます。						目標達成度
							■ ■ ■ (低)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 自治会活動の活性化

基本事項 02 市民活動の推進

基本事項 03 人権意識の向上と男女共同参画社会の推進

基本事項01 自治会活動の活性化

指標①	町内会・行政区活動に参加している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	%	41.1	-	38.8	→	
評価	(状況) 町内会・行政区に参加している市民の割合は38.8%で、総合計画基準値 (H28) と比較し2.3ポイント減少しています。 (原因) 町内会加入率の低下や、少子高齢化に伴う育成会活動の減少等により、20代から30代の地域コミュニティ活動への参加が低下しているものと考えられます。						(横ばい) 目標達成度 (低)

基本事項01 自治会活動の活性化

指標②	自治会加入率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	%	74.5	74.3	73.7	75.0	
評価	(状況) 自治会加入率は73.7%で、総合計画基準値 (H28) と比較し0.8ポイント減少していますが、ほぼ横ばいです。 (原因) アパート等借家の入居者の加入率が低いことが要因として考えられます。						(横ばい) 目標達成度 (低)

基本事項01 自治会活動の活性化

指標③	集会施設を修繕・機能改善した自治会数(累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	自治会	24	15	25	75	
評価	H28～30年度の数値は単年度の実績値です。 (状況) 集会施設を修繕・機能改善した自治会数は25自治会で、総合計画基準値 (H28) と比較し1自治会增加しています。 (原因) 高齢者対応のトイレ改修など、高齢者、バリアフリー対応への修繕を必要とする施設が増加しているためと考えられます。						(横ばい) 目標達成度 (低)

基本事項02 市民活動の推進

指標①	市民活動に参加している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	%	7.4	-	8.2	→	
評価	(状況) 市民活動に参加している市民の割合は8.2%で、総合計画基準値 (H28) と比較し0.8ポイント増加しています。年齢別にみると50歳以上において参加率が高い傾向となっています。 (原因) 市民活動サポートセンターに登録している団体が、平成29年度は61団体、平成30年度は70団体と9団体増加したことや、サポセンフェスが多くの市民に周知されてきたことが原因と考えられます。						(横ばい) 目標達成度 (低)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 自治会活動の活性化
基本事項 02 市民活動の推進
基本事項 03 人権意識の向上と男女共同参画社会の推進

基本事項02 市民活動の推進

指標②	市民活動における施設の年間利用者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	人	190,513	178,194	214,794	260,000	(向上)
評価	(状況) 市民活動における施設の年間利用者数は214,794人で、総合計画基準値 (H28) と比較し24,281人増加しました。 (原因) 市民交流センター (tette) の閉館により、利用者が大幅に増加し、公民館の利用者数も平成29年度同様の利用がありました。平成29年度は市民交流センターへ移設する準備期間であり、閉館している期間があったため、利用者数が減少しています。						目標達成度
							(低)

基本事項03 人権意識の向上と男女共同参画社会の推進

指標①	地域で男女が平等に社会参画できていると思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	%	59.4	-	56.5	→	(横ばい)
評価	(状況) 地域で男女が平等に社会参画できていると思う市民の割合は56.5%で、総合計画基準値 (H28) と比較し2.9ポイント減少していますが、市民アンケートによる指標であるため、統計誤差の範囲であり横ばいです。 (原因) 市、県及び国または、マスメディアで広く周知されるようになり、男女が平等に社会参画できていることへの理解は、一定程度、浸透してきているものと考えられます。市では男女共同参画啓発を目的とし年2回講演会を実施しています。継続し着実に実施することで意識の高まりが期待できます。						目標達成度
							(低)

基本事項03 人権意識の向上と男女共同参画社会の推進

指標②	市や人権擁護委員が行う人権教室の参加人数 (累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	人	547	1,197	532	3,200	(横ばい)
評価	H28~30年度の数値は単年度の実績値です。 (状況) 市や人権擁護委員が行う人権教室の参加人数は532人で、総合計画基準値 (H28) と比較し15人減少しました。 (原因) 人権セミナーを計画通り3校で実施できたためです。人権教室については、法務局から各学校に事業の広報周知があるため広く学校側に周知されています。						目標達成度
							(低)

政策 03 安全に安心して暮らせるまちづくり

施策 02 防災・減災対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	防災・減災の取組によって被害を抑えられます。

施策の成果状況と評価

指標①	被災世帯数・被災事業所数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【生活課】	件	9	9	19	0
評価	(状況) 被災世帯数・被災事業所数は19件で、総合計画基準値(H28)と比較し10件増加しています。内訳は火災が12件、風水害等が7件です。 (原因) 火災発生件数が増加したことによるものです。						目標 達成度  ■■■ (低)

指標②	災害・火災による死亡者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【生活課】	人	2	0	3	0
評価	(状況) 災害・火災による死亡者数は3人で、総合計画基準値(H28)と比較し1人増加しています。 (原因) 深夜の建物火災であり、いずれも住宅用火災警報器が未設置であったことが要因の一つと考えられます。						目標 達成度  ■■■ (低)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	地域防災力の向上
基本事項 02	災害時の避難・支援体制の確立
基本事項 03	治水・浸水対策の推進
基本事項 04	急傾斜地崩壊防止施設の整備
基本事項 05	消防体制の充実

基本事項01 地域防災力の向上

指標①	市民の防災対策の平均実践項目数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	項目	2.65	-	2.57	→	
評価	<p>(状況) 市民の防災対策の平均実践項目数は2.57項目で、総合計画基準値 (H28) と比較し0.08項目減少しましたが、市民アンケートによる指標であるため、統計誤差の範囲であり、ほぼ横ばいです。 (原因) 20～59歳までの就労世代において、防災に対する意識が低く、実践項目数が伸び悩んでいるためです。</p>						(横ばい)
		目標達成度	■ ■ ■ (低)				

基本事項01 地域防災力の向上

指標②	自主防災組織率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	%	50.9	55.2	56.1	80.0	
評価	<p>(状況) 町内会・行政区における自主防災組織率は56.1%で、総合計画基準値 (H28) と比較し5.2ポイント増加し、自主防災組織が6地区増加しました。 (原因) 東日本大震災の経験から、自主防災組織の必要性が再認識されていることが要因であると考えられます。</p>						(向上)
		目標達成度	■ ■ ■ (低)				

基本事項01 地域防災力の向上

指標③	災害等による消防団員の平均出勤率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	%	62.2	64.3	63.6	72.0	
評価	<p>(状況) 災害等による消防団員の平均出勤率は63.6%で、総合計画基準値 (H28) と比較し1.4ポイント増加しています。 (原因) サラリーマン団員が8割を占めるなか、災害時に全団員が出勤することは困難ですが、団員の士気と責任感により支えられているものと考えられます。</p>						(向上)
		目標達成度	■ ■ ■ (低)				

基本事項01 地域防災力の向上

指標④	避難行動要支援者避難支援プラン (個別計画) における避難支援者登録割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【長寿福祉課】	%	56.0	76.7	70.4	65.0	
評価	<p>(状況) 避難行動要支援者避難支援プラン (個別計画) における避難支援者登録割合は70.4%で、総合計画基準値 (H28) と比較し14.4ポイント増加し、目標値を達成しています。避難行動要支援者の登録者2,048人に対し、避難支援者が登録されている人は1,442人で、残り606人は避難支援者が登録されていない状況です。 (原因) 避難支援者の登録については、避難行動要支援者の新規登録時や、定期的に行っている既登録者の自宅訪問調査時に避難支援登録を依頼していることが原因と考えられます。</p>						(向上)
		目標達成度	■ ■ ■ (達成)				

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	地域防災力の向上
基本事項 02	災害時の避難・支援体制の確立
基本事項 03	治水・浸水対策の推進
基本事項 04	急傾斜地崩壊防止施設の整備
基本事項 05	消防体制の充実

基本事項02 災害時の避難・支援体制の確立

指標①	食糧の備蓄量	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	食	18,000	18,000	18,000	18,000	(向上)
評価	(状況) 食糧の備蓄量は18,000食で、総合計画基準値 (H28) の18,000食を維持しています。備蓄以外に、災害時応援協定を締結し、災害時における食糧確保体制を整えています。 (原因) 食糧備蓄量に変化が無い理由は、災害時の備蓄食糧数を決め、備蓄食糧の賞味期限切れと新規購入量がほぼ同数であり、備蓄食糧の在庫数に変化が生じないためです。					目標達成度	
						(達成)	

基本事項02 災害時の避難・支援体制の確立

指標②	災害情報伝達設備・手段の不具合・トラブル件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	件	2	3	0	0	(向上)
評価	(状況) 災害情報伝達設備・手段の不具合・トラブル件数は0件で、総合計画基準値 (H28) と比較し2件減少し、目標値を達成しています。 (原因) 平成30年度から2年計画でバッテリー修繕工事を実施しているためです。防災行政無線屋外子局の放送に必要な設備であるバッテリーの耐用年数が5年前後であるため、年2~3件程度の不具合が生じていましたが、現在は解消されています。					目標達成度	
						(達成)	

基本事項03 治水・浸水対策の推進

指標①	内水対策地区における床上浸水家屋数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	件	0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 内水対策地区における床上浸水家屋数は0件でした。 (原因) 浸水被害が想定される6地区において、出動訓練等を実施し非常時に備えた体制を整えました。また、台風等による被害が想定された際は、排水ポンプの設置を行いました。異常出水などが無かったことによるものです。					目標達成度	
						(達成)	

基本事項03 治水・浸水対策の推進

指標②	雨水計画区域内の管きょや内水排水施設の整備率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	88.4	88.4	89.7	91.6	(向上)
評価	(状況) 雨水計画区域内の管きょや内水排水施設の整備率は89.7%で、総合計画基準値 (H28) と比較し1.3ポイント増加し、順調です。 (原因) 平成30年度で小作田排水区の雨水幹線の整備が完了し、整備面積が平成28年度の1,127.7haから1,143.7haへ16ha増加したことによるものです。					目標達成度	
						(低)	

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	地域防災力の向上
基本事項 02	災害時の避難・支援体制の確立
基本事項 03	治水・浸水対策の推進
基本事項 04	急傾斜地崩壊防止施設の整備
基本事項 05	消防体制の充実

基本事項04 急傾斜地崩壊防止施設の整備

指標①	急傾斜地対策事業として取り組む地区のうち、整備が完了した地区の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	88.9	88.9	100.0	100.0	(向上)
評価	(状況) 急傾斜地対策事業として取り組む地区のうち、整備が完了した地区の割合は100.0%で、総合計画基準値 (H28) と比較し11.1ポイント増加し、目標値を達成しています。 (原因) 平成22年度から福島県が進めてきた急傾斜地対策事業により、日向地区の急傾斜地対策が完了したためです。					目標達成度	
						(達成)	

基本事項04 急傾斜地崩壊防止施設の整備

指標②	日向地区における危険が回避された家屋の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	36.4	70.0	100.0	100.0	(向上)
評価	(状況) 日向地区における危険が回避された家屋の割合は100%で、総合計画基準値 (H28) と比較し63.6ポイント増加し、目標値を達成しています。 (原因) 平成30年度に家屋3戸の危険回避を実施し、日向地区内の危険区域にある家屋10戸全ての危険が回避され、整備が完了したためです。					目標達成度	
						(達成)	

基本事項05 消防体制の充実

指標①	災害等現場への平均到着時間	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	分	12分44秒	10分38秒	10分22秒	12分30秒	(向上)
評価	(状況) 災害等現場への平均到着時間は10分22秒で、総合計画基準値 (H28) と比較し2分22秒短縮され、目標値を達成しています。 (原因) 日頃の訓練や、速やかな連絡体制が構築されていることによるものです。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     グラフ表示はありません                 </div>				目標達成度	
						(達成)	

政策 03 安全に安心して暮らせるまちづくり

施策 03 暮らしの安全対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	暮らしの安全に対する意識高揚が図られています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市内の人身事故発生件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【生活課】 1月から12月の暦年データに基づくものです。	件	221	206	171	200
評価	<p>(状況) 市内の人身事故発生件数は171件で、総合計画基準値(H28)と比較し50件減少し、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 交通安全関係団体等が連携して実施する交通安全啓発運動などにより、交通安全意識の向上が図られていることが要因と考えられます。</p>					(向上) 目標達成度 (達成)	

指標 ②	刑法犯認知件数（須賀川警察署管内）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【生活課】 1月から12月の暦年データに基づくものです。	件	540	535	457	→
評価	<p>(状況) 刑法犯認知件数（須賀川警察署管内）は457件で、総合計画基準値（H28）と比較し83件減少しました。刑法犯認知件数のうち、窃盗犯が351件で全体の76.8%を占めています。</p> <p>(原因) 警察署による取り締まりはもとより、小・中・高校生による少年非行防止活動や関係団体等による啓発活動により、犯罪防止が図られたことが要因と考えられます。また、万引きや車上荒らしなどの窃盗犯は再犯率が高い傾向にあることから、全体に占める割合が高いものと考えられます。</p>					(向上) 目標達成度 (達成)	

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。



□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 交通安全意識の高揚
- 基本事項 02 交通安全施設の整備
- 基本事項 03 子どもの登下校の安全確保
- 基本事項 04 犯罪に強い地域づくり
- 基本事項 05 消費生活意識の高揚

基本事項01 交通安全意識の高揚

指標 ①	市内の交通違反による交通事故発生件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【生活課】	件	167	140	105	150	☀ (向上)
評 価	1月から12月の暦年データに基づくものです。	(件)					☀ (向上)
	<p>(状況) 市内の交通違反による交通事故発生件数は105件で、総合計画基準値 (H28) と比較し62件減少し、目標値を達成しています。主な違反としては、前方不注意が45件で全体の約43%を占めており、次いで優先通行妨害等、交差点安全進行違反の順となっています。</p> <p>(原因) 交通安全関係団体等が連携して実施する交通安全啓発運動などにより、交通安全意識の向上が図られていることが要因と考えられます。</p>						
		(件)					☀ (向上)
							☀ (向上)
							☀ (向上)
							☀ (向上)

基本事項02 交通安全施設の整備

指標 ①	交通安全施設を整備、機能改善した箇所数 (累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【道路河川課】	箇所	122	167	197	222	☀ (向上)
評 価	<p>(状況) 交通安全施設を整備、機能改善した箇所数 (累計) は197箇所、総合計画基準値 (H28) と比較し75箇所、平成29年度と比較し30箇所増加しています。</p> <p>(原因) 平成30年度は、交差点内の右折レーン設置、区画線の引き直し、ガードレールやカーブミラーの設置など、30箇所の交通安全施設整備を実施したためです。</p>	(箇所)					☀ (向上)
							■ 目標 達成度
		(箇所)					☀ (向上)
							☀ (向上)
							☀ (向上)
							☀ (向上)

基本事項03 子どもの登下校の安全確保

指標 ①	登下校時の事件・事故件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【学校教育課】	件	11	14	15	5	☁ (横ばい)
評 価	<p>(状況) 登下校時の事件・事故件数は15件で、総合計画基準値 (H28) と比較し4件増加しています。</p> <p>(原因) 各学校において、警察署員や交通教育専門員を招いて交通安全教室を行い、安全な登下校についての指導を行っていますが、ドライバーの不注意によるもらい事故のケースなどもあることから、周囲に気を付けて登下校するよう、指導を行う必要もあります。</p>	(件)					☁ (横ばい)
							■ 目標 達成度
		(件)					☁ (横ばい)
							☁ (横ばい)
							☁ (横ばい)
							☁ (横ばい)

基本事項04 犯罪に強い地域づくり

指標 ①	防犯対策を実践している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【生活課】	%	52.0	-	49.0	→	☁ (横ばい)
評 価	<p>(状況) 防犯対策を実践している市民の割合は49.0%で、総合計画基準値 (H28) と比較し3.0ポイント減少しましたが、市民アンケートの指標であるため、統計誤差の範囲であり横ばいです。</p> <p>(原因) 実践している防犯対策は、「自宅を出る際の戸締り確認」が最も多く、次いで「外出するときに家族などへ行先を伝える」が多い結果となっており、防犯意識の醸成が図られているものと推測されます。</p>	(%)					☁ (横ばい)
							■ 目標 達成度
		(%)					☁ (横ばい)
							☁ (横ばい)
							☁ (横ばい)
							☁ (横ばい)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	交通安全意識の高揚
基本事項 02	交通安全施設の整備
基本事項 03	子どもの登下校の安全確保
基本事項 04	犯罪に強い地域づくり
基本事項 05	消費生活意識の高揚

基本事項04 犯罪に強い地域づくり

指標②	防犯施設を整備、機能改善した箇所数（累計）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	件	8,661	8,710	8,779	9,000	(向上)
評価	<p>(状況) 防犯施設を整備、機能改善した箇所数（累計）は8,779件で、総合計画基準値（H28）と比較し118件増加しました。                  (原因) 防犯灯は夜間における犯罪、事故等の発生を抑制する効果が認められることから、市民生活の安全に資するため、防犯灯の効果的な設置に努めました。</p>						目標達成度
		<p>■ ■ ■ (低)</p>					

基本事項05 消費生活意識の高揚

指標①	製品安全3法に基づく立入検査による違反件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	件	0	0	0	0	(向上)
評価	<p>(状況) 製品安全3法に基づく立入検査による違反件数は0件でした。電気用品安全法に基づく「直流電源装置」の立入検査を3事業所、家庭用品品質表示法に基づく「製氷用器具等」の立入検査を1事業所、消費生活用製品安全法に基づく「石油給湯器」の立入検査を1事業所で実施しました。                  (原因) 各事業者が法令の目的を理解し、適正に遵守できているためと考えられます。</p>						目標達成度
		<p>■ (達成)</p>					

基本事項05 消費生活意識の高揚

指標②	消費トラブルの相談・解決方法の認識数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	項目	1.99	-	1.78	➔	(横ばい)
評価	<p>(状況) 消費トラブルの相談・解決方法の認識数（7項目中）は1.78項目で、総合計画基準値（H28）と比較し0.21項目減少しましたが、市民アンケートの指標であるため、統計誤差の範囲であり横ばいです。認識している方策は、「クーリングオフ制度の利用」、「メーカー等のお客様相談室への問い合わせ」、「県の消費生活センターへの相談」の順で高い傾向となっています。                  (原因) 「司法書士会等の無料相談」や「法テラスへの相談」などの認知度が低いことや、解決するための方策を知らない人の割合が高いことも要因であると考えます。</p>						目標達成度
		<p>■ ■ ■ (低)</p>					

政策 03 安全に安心して暮らせるまちづくり

施策 04 公共交通網の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	公共交通網が充実し、交通空白地域が減少します。

施策の成果状況と評価

指標①	公共交通が利用しやすいと思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【生活課】	%	67.2	-	68.5	→
評価	<p>(状況) 公共交通が利用しやすいと思う市民の割合は68.5%で、総合計画基準値 (H28) と比較し1.3ポイント増加しました。鉄道の運行については、地区別の差異はほとんどありませんでしたが、バス・乗合タクシーの運行についての地区別割合は、浜田地区が65.7%と高く、岩瀬地区が41.6%と低い結果となりました。</p> <p>(原因) 路線バスとともに、循環バスや乗合タクシー事業が認知され、公共交通の利便性が向上していると考えられるため、成果も向上していると推測されます。</p>						☀ (向上)
		目標達成度	■ ■ ■ (中)				

指標②	公共交通の乗車人員	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【生活課】	人	1,165,758	1,166,049	1,159,833	→
評価	<p>(状況) 公共交通の乗車人員は1,159,833人で、総合計画基準値 (H28) と比較し5,925人減少しています。内訳は、路線バスが239,015人、循環バスが66,897人、乗合タクシーが5,661人、東北本線須賀川駅の乗車人員が848,260人となっています。</p> <p>(原因) 路線バスの年間利用者数が、総合計画基準値 (H28) と比べ24,477人と大幅に減少したことが主な要因です。</p>						☂ (低下)
		目標達成度	■ ■ ■ (低)				

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 交通弱者や交通不便地域の解消

基本事項 02 公共交通の利便性向上

基本事項01 交通弱者や交通不便地域の解消

指標①	交通手段がなくて困っている市民割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	%	6.5	-	6.2	→	
評価	(状況) 交通手段がなくて困っている市民割合は6.2%で、総合計画基準値 (H28) と比較し0.3ポイント減少しました。年齢別では、19歳以下が18.2%、75歳以上が11.1%と平均値より高くなっています。地域別での差異は、ほとんどありませんでした。 (原因) 交通弱者である学生や高齢者が、交通手段に困っている傾向にあると考えられます。						(向上) 目標達成度 (達成)

基本事項01 交通弱者や交通不便地域の解消

指標②	乗合タクシーの運行地域カバー率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	%	64.6	64.6	65.8	65.8	
評価	(状況) 乗合タクシーの運行地域カバー率は65.8%で、総合計画基準値 (H28) と比較し1.2ポイント増加し、目標値を達成しています。 (原因) 平成25年度の運行エリアの再編以降、変更はありませんでしたが、平成30年4月から新たに東山エリアの運行を開始したことが要因となっています。						(向上) 目標達成度 (達成)

基本事項02 公共交通の利便性向上

指標①	各種バス年間乗車人員	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	人	323,703	323,994	311,573	320,000	
評価	(状況) 各種バス年間乗車人員は311,573人で、総合計画基準値 (H28) と比較し12,130人減少しました。内訳は路線バスが239,015人、循環バスが66,897人、乗合タクシーが5,661人となっています。 (原因) 循環バスの年間利用者数は総合計画基準値 (H28) と比較し12,313人増加しましたが、路線バスの年間利用者数が総合計画基準値 (H28) と比較し24,477人と大幅に減少したことが要因となっています。						(低下) 目標達成度 (低)

基本事項02 公共交通の利便性向上

指標②	須賀川駅の1日平均乗車人員	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生活課】	人	2,307	2,324	2,294	→	
評価	(状況) 須賀川駅の1日平均乗車人員は2,294人で、総合計画基準値 (H28) と比較し13人減少しましたが、ほぼ横ばいとなっています。 (原因) 主な利用者は、通勤、通学者であると推測されることから、平均乗車人員の大幅な変動はなく、横ばい状態にあると考えられます。						(横ばい) 目標達成度 (達成)